

嘔吐物の適切な処理

<必要物品>

使い捨ての手袋・マスク・エプロン、ペーパータオルや新聞紙、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム(適切な濃度)、専用バケツなど

➤ これらを1セットにして、いざという時にすぐ取り出せるようにしておきましょう!

次亜塩素酸ナトリウムの使用(適切な濃度で)

- 直接手で触れる機会がある場所→濃度:0.02%(例)ドアノブ、水道の蛇口、机、イスなど
- 嘔吐物、便等で汚染された場所→濃度:0.1%

<市販の漂白剤(塩素濃度5%)を使用する場合>

0.02%:500mlのペットボトル1本の水に約2m(キャップ半分)

0.1%:500mlのペットボトル1本の水に約10m(キャップ2杯)

<処理の手順>

- ①汚染場所に他の人が近づかないようにする
- ②処理をする人は使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用する



- ④使用した使い捨ての布やペーパータオルはすぐにビニール袋に入れ密封し処分する



- ③先に嘔吐物の上に新聞紙等をかぶせ、消毒薬を上からかけておき、その後外側から内側に向けて、静かに拭き取る。ペーパータオル等を用いる場合は外側から内側に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取る



- ⑤嘔吐物が付着していた床とその周囲を、0.1% 次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すように拭く



- ⑥処理後は手袋などをはずして手洗いをする。手袋などは、使った布やペーパータオル等と同じように密封して処分する

👉ここが大事!!
汚染が広がらないようにエプロンや手袋をはずしましょう



嘔吐物の処理の際の注意点

- 必ず換気する
- エプロンの裾が床に触れないようにする
- 嘔吐物は広範囲に飛んでいる可能性があるため、十分に拭き取り、消毒をする(スプレー式のものは乾燥したウイルスが飛散する恐れがあるため望ましくない)
- エプロンなどをはずす時に、汚染が広がらないように注意。エプロンなどをつけたまま移動しないように！
- もし、担当が1名の場合、応援体制を組んで対応を

